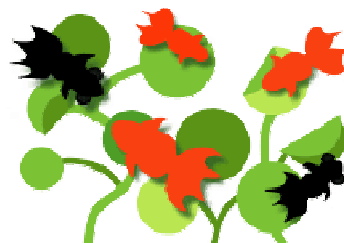




小説ブーム到来

最近、お笑い芸人の又吉直樹さんがよくテレビに出ています。そうです、小説の「火花」が芥川賞を受賞したからです。私もテレビを見ながら「へ～、すごいな～」なんて他人事で見ていました。本に興味がない私は…。いえ、むしろ本を読むことが好きではない私にとっては関心のない話題でした。ところがある日、移動時間の長い出張がありました。さすがに何時間も手持無沙汰になるのはもったいないと思い、なんとなくブックオフさんに行きました。フラフラ～と店内を見渡していると「最年少芥川賞受賞！」の文字が飛び込んできました。その本は2003年に発売された「蹴りたい背中」という本でした。作者は綿矢りさという人で、当時19歳でした。そのニュースも覚えていたので、迷わず本を手に取りレジに向かいました。帰路の途中、当時かわいらしい女の子がインタ

ビューに答えていた事や、それ以降、名前を全く聞かなくなっちゃったな～なんて事が頭の中を巡っていました。でも家に着くころにはそんな事も忘れていました。数日後、出張の日が来ました。小さなテーブルの上にコーヒーを準備して「よし！」と一声ついてから、1ページ目をめくりました。30秒後…。「何これ…超おもしろい…」1ページ目からいきなり吸い込まれました。私の高校生活なんてもう数年(数十年?)前。それなのに、頭の中は完全に教室の中。目の前に広がる景色も、殺風景な新幹線の中ではなく、やる事もなくぼんやり眺める黒板。当時の数学の先生が意味不明な数式を説明している光景でした。「すごい…」そんな感情が湧き出てくると同時に、一気に最後のページまで読みたくなりました。東京に着くころには2/3を読み終えており、降車の為に本を中断されたイ



ライラをぶつける所がなく、ムスっとしていました。駅を出て、すぐにスタバに駆け込み、残りを読みました。なんとも言えないワクワク感に包まれました。東京での用事を済ませ、岡崎に帰ってきました。岡崎に着いてすぐにブックオフに走りました。そこで綿矢りささんの本を2冊買いました。忙しい毎日でしたが、1週間で全部読みました。そのたびに、何とも言えないワクワク感に包まれます。今まで本が好きだという人をどこか冷めた目で見ていましたが、今は私も共感できます！まだまだ本の世界の超素人ですが、少しずつ読んでいきたいな～って感じるかわかりませんね！

みんなのひとり言

先日社長が北海道に行ったそうです。でも、色々なホテルに電話しましたが、結局取れなかったようです。「仕方がない、漫画喫茶かカラオケで寝るからいいよ…」そんなセリフを吐いて、旅立ちました。数日後、帰ってきた社長に感想を聞くと…「もう最悪だった。漫画喫茶で寝ただけど、まず床は平らになるスペースだったんだけど、枕がない。おまけに法律で個室にはできないから、天井が空いている。隣の声も聞こえるのさ。そして、夜中の3時ぐらいに隣の人がお菓子を食べて、そのポリポリって音やガサゴソする音で全く寝れなかった…」って話してくれました。やっぱり、計画的にホテルを予約してから出かけましょう…(笑)



喜んでいただけました！のコーナー！

先日電話が鳴りました。YG性格検査の取り扱いがありますか？という内容でした。そもそも、この言葉自体を聞いたことがなかったために、何の事を話しているのか理解ができませんでした(笑)よ～聞いてみると、上記の検査をやってみたいが扱っている所がわからず、お電話をいただいたみたいです。近年はgoogle先生と言われるように、困ったことがあれば、インターネットのgoogleに

聞くのが一番！という事で調べてみました。なるほど、性格検査の一つのようです。扱っている会社も調べることが出来ました。早速FAXでその内容と、扱っている会社さんをお伝えしました。後日電話があり、大変喜んでいただけました。こうやってお客様から問題をぶつけていただけることで、私たちも勉強になりますし、お客様が求めている物や、新しい知識も身に付きます。これからも何

でもぶつけてみてください。ノーと言わない会社、中部ビジネスに！(笑)

今月の格言！

**人間はミスをする動物だ
必ずミスをするという前提で
考えなければならない**

(鎌田寛)

わかってください。ミスなんて無くならない事を！
でも減らすことはできるはず。
どうやってミスを減らすことができるかを考えましょう！